

一般社団法人日本歯科専門医機構
令和4年度第10回理事会 議事録

1. 開催日時 令和5年2月9日（木）午後2時00分～3時34分

2. 開催場所 日本歯科専門医機構事務局（ハイブリッド形式）

3. 出席者（敬称略）

1) 理事数（定足数）ならびに出席理事数とその氏名（敬称略、順不同）

理事現在数 15名（定足数8名）

出席理事数 12名

出席者 会場参加 今井 裕、砂田勝久、伊藤孝訓、木本茂成
古郷幹彦、浅海淳一

WEB参加 柳川忠廣、鳥山佳則、村上伸也、松村英雄
小方頼昌、丹羽 均、豊田郁子、宮脇正和

欠席者 丸川珠代

陪席者 会場参加 丸山高人

2) 監事現在数ならびに出席監事数

監事現在数 2名

出席監事数 2名

出席者 会場参加 横山敏秀

WEB参加 永井裕之

議長は、定款31条第1項により理事長が務める旨規定されているが、本日は、報告及び協議事項については砂田専務理事が、審議事項については今井理事長が議長を務める旨が報告され、定足数の充足を確認し本理事会の成立を宣した。開会に先立ち、本日の理事会には、丸山高人顧問弁護士がオブザーバーで出席する旨が報告された。

4. 開会の辞

柳川副理事長が開会を宣し開会した。

5. 挨拶

今井理事長より、理事会を始めるにあたり挨拶があった。

6. 令和4年度第8回理事会議事録(案)、令和4年度第9回理事会(メール会議)議事録(案)の確認
砂田専務理事より、令和4年度第8回理事会議事録(案)、令和4年度第9回理事会(メール会議)
議事録(案)について説明があり、基本的に了解が得られた。なお、意見、修正等がある場合には1週間以内に事務局に連絡するよう依頼された。

7. 報告

(1) 庶務報告

砂田専務理事より、令和4年12月8日以降に開催した会議等について報告があった。

(2) 会計報告

木本財務理事より、資料4の令和5年1月度の月次決算について報告があった。

(3) 委員会報告

松村理事より、専門医制度整備委員会の開催内容等について報告があった。また、砂田専務理事より、専門医申請学会評価認定委員会、共通研修企画実施小委員会、共通研修評価認定小委員会、IT広報委員会の開催内容等について報告があった。

(4) 新たな専門領域に関する協議の進捗状況について

砂田専務理事より、新たな5専門領域に関する協議の進捗状況について報告があった。

これに対し、柳川副理事長より、総合歯科専門医(仮称)に関しての「また、歯科医師会との協議は、制度が確立するまで、一時休止することが合意されている。」の記述について、後ろ向きな感じがするため、必要がなければ削除してはどうかとの提案があった。

今井理事長より、幹となるシステムができていない中で協議をしても実りのある協議ができないため、それまで休止するとの趣旨での記載であった。誤解を招き、後ろ向きの印象を与えるようであれば消去したいとの回答があった。これに対し、理事からは特に異議はなく、上記記述を削除することとなった。

また、古郷理事より、インプラント歯科専門医(仮称)に関しての「その上で、口腔外科、補綴について相互に補完し研修を行うことの必要性」の記述の意味について質問があった。

今井理事長より、口腔インプラント学会では外科的な研修が、顎顔面インプラント学会では補綴に関する研修が十分ではないという話があり、相互が補完し合って研修できるシステムをつくらうという趣旨であるとの回答があった。

(5) 厚生労働省委託事業について

砂田専務理事より、厚生労働省委託事業について、例年より1か月ほど遅く、12月28日に当機構が落札したと連絡があったため、タイトなスケジュールとなり、ご迷惑をおかけしている旨の報告があった。

(6) 2021年度歯科専門医等に関する情報の公開について

砂田専務理事より、2021年度歯科専門医等に関する情報を機構ホームページで公開している旨の報告があった。

これに対し、宮脇理事より、名簿が掲載されているが、順序がランダムである。郵便番号順に並べると、専門医が身近におられるかがすぐに分かるし、機構の方で準備を進めていることが見えるのでよいとの提案があった。

今井理事長より、ホームページのリニューアルと同時に、地域別等々に専門医の施設と歯科医師を掲載する形でIT広報委員会で検討中であるとの回答があった。

また、小方理事より、日本歯周病学会では、どの駅にどの専門医がいるか検索機能を専門医名簿につけたが、機構ホームページでも同様になる予定かとの質問があった。

砂田専務理事より、詳細はまだ協議中だが、でき得る限り患者が専門医を選ぶのに適切な案内ができる形になるよう検討中であるとの回答があった。

さらに、丸山先生より、それぞれのご意見をIT広報委員会での議論に生かすこと、及びホームページができた段階で皆様に見ていただきたい旨の発言があった。

(7) 旧事務所に係る敷金等の取扱いについて

砂田専務理事より、旧事務所の敷金と原状回復費を相殺するとの連合からの提案を承認し覚書の案を連合に提案したと報告があった。

これに対し、松村理事より、連合からの公式回答は後日となるが、昨日の連合理事会で機構が提案した覚書を承認した旨の報告があった。

(8) 共通研修申請にあたっての留意事項

砂田専務理事より、共通研修申請にあたっての留意事項として、法定講習であっても機構の共通研修と認定されない可能性がある旨の案内をしたとの報告があった。

(9) その他

今井理事長より、既存の広告可能な5学会の理事に対し、更新の準備を進めていただきたい旨の依頼があった。

古郷理事より専門医の数が多く共通研修に対する理解が十分ではないこともあり、更新時に学会事務局がパニックになる可能性があることから、共通研修の未受講者に対する救済処置を検討してほしいとの意見があった。これに対し、後程、協議事項で検討したい旨の発言があった。

8. 審議事項

第1号議案 令和5年度事業計画（案）

第2号議案 令和5年度予算（案）

今井理事長より、令和5年度事業計画（案）及び令和5年度予算（案）について一括審議の依頼があり、今井理事長及び木本業務執行理事により説明がされた。

これに対し、松村理事より、広報に関わる事業費の4年度補正予算600万円については、次年度に50万円増で組み込み、本年度は未執行になると考えてよいかとの質問があった。

今井理事長より、本年度は未執行となり、公認会計士からの指導により、次年度に予算として新たに計上する旨の回答があった。

関連して、永井監事より、広報に関わる事業費650万円では、制作した漫画はホームページでの公開のみで、冊子にして配付する計画はないとの理解でよいかとの質問があった。

今井理事長及び木本業務執行理事より、本予算に1万部の印刷費も含まれている旨の回答があった。

その他の質問はなく、投票を行い、全員賛成の上、第1号議案及び第2号議案は一括承認された。

第3号議案 令和4年度臨時社員総会の招集

今井理事長より、令和4年度臨時社員総会の招集について審議の依頼があり、令和5年3月3日午後4時から原則対面で開催するとの説明があった。

これに対し、宮脇理事より、リモート参加は可能かとの質問があった。

今井理事長より、どうしても無理な場合にはリモート参加も可能な旨の回答があった。

その他の質問はなく、投票を行い、全員賛成の上、第3号議案は承認された。

第4号議案 委員の退任について

今井理事長より、委員の退任について審議の依頼があり、専門医申請学会評価認定委員会の高戸委員から一身上の都合により委員を辞任したい旨の届け出があったことについて説明がされた。

これに対し、理事からは特に意見はなく、投票を行い、全員賛成の上、第4号議案は承認された。

9. 協議事項

(1) 広報活動について

砂田専務理事より、広報に関わる事業費600万円を次年度予算に50万円増して組み込むことについて、及び漫画家との契約年月日を当初予定の令和4年12月から令和5年4月以降に変更することについての2点の協議依頼があった。

今井理事長及び砂田専務理事より、1点目の増額理由は、著作権を漫画家が放棄し機構が取得することに伴い契約料がアップしたこと、さらに、物価高騰のための紙代、交通費増を見込んでいること、2点目の契約年月日変更は、次年度予算での事業となるため、合わせた日付

とすべきとの意見があったためとの説明がされた。

これに対し、鳥山副理事長より、提示された650万円を上回ることはないかとの質問があった。

今井理事長より、契約書に記載されている消費税別570万円余が現在提示されている額であり、機構としてはこれを600万円に抑えたいと考えている。松村理事に予算面での御協力をいただきたいとの回答があった。

関連して、松村理事より、連合との共同制作として既に検討済みである旨の発言があり、あわせて、機構が認定する具体的な個々の専門医の名称は漫画の中に出てくるのかとの質問があった。

今井理事長より、詳細は今後詰めるが、現時点では当然入る、入らないと意味がないと考えているとの回答があった。

また、古郷理事より、漫画を制作し、どうやって国民の目に触れさせるかが難しい。ある程度お金を使わなければならないと考えるとの意見があった。

今井理事長より、具体的にこんな方法があるのご意見があればどんどんお寄せいただきたい、できる限りのことをやっていきたいとの回答があった。

さらに、宮脇理事より、知識があまりない一般の方にも受診にあたっての参考になる視点を漫画の中でも一定反映していただけるとありがたい。すごく役立つのではないかとの意見があった。

今井理事長より、作家と意見交換する機会に参加して意見を述べていただきたいとの回答があった。

(2) 共通研修について

砂田専務理事より、共通研修について協議依頼があった。

今井理事長より、5領域が更新時期を迎えることを機に、共通研修について各学会で実態調査し、結果に基づき学会の考え方等を機構にお寄せいただき、適切な対応を考えていきたい。具体的には、この5年の間で未対応、研修単位不足の方々を全部整理し、可能な限りここでレスキューをかけたいと原則として考えている旨の説明がされた。

これに対し、古郷理事より、残念ながら規定に足りない方がかなりおられると思う。職がかかっているのをそれを取り上げることはほとんどできない。実際どうすればいいかは、実態調査し、どれくらい足りないかを見てレスキューをかける方法を考えていただきたいとの意見があった。

また、小方理事より、日本歯周病学会では会員にかなり周知はしているが認識されていない先生方がたくさんいる。1年2単位の縛りを、年数もしくは単位を拡大するなどできれば何

とかレスキューできるのではないかとの意見があった。

さらに、木本業務執行理事より、現在行っている今年度の共通研修の期間を延長したり、新たな期間を設定しての周知も可能ではないかと思う。状況をまず見極めてからの話でよいかと思うとの意見があった。

さらに、砂田専務理事より、患者に不信を持たれるような、無制限な延長対応等は許されない。学会の中でまずちゃんと調べて対応していくことを考えたいとの意見があった。

今井理事長より、各学会へ文書で調査についてご案内する。学会内での周知をお願いしたい旨の依頼があった。

(3) その他

特になし。

10. その他

(1) 次回理事会日程

砂田専務理事から次回の理事会開催日について、令和5年3月3日午後2時からTKP市ヶ谷カンファレンスセンターにて開催する連絡があった。

11. 閉会の辞

鳥山副理事長から、議題の審議等が終了した旨が宣され、閉会した。

この議事録が正確であることを証するため、定款第33条に基づき代表理事及び監事は記名押印する。

令和 年 月 日

議長・議事録作成者

理事長 今井 裕 (印)

監事 横山 敏秀 (印)

監事 永井 裕之 (印)